

みずみどり

1999年9月15日 第14号

発行：いたばし水と緑の会 事務局

年会費 2,000円 郵便振替 00170-8-352508 いたばし水と緑の会

ホームページ <http://www.ne.jp/asahi/nature/land/index.htm>

〒173-8501 板橋区板橋2-66-1 TEL 03-3579-2598

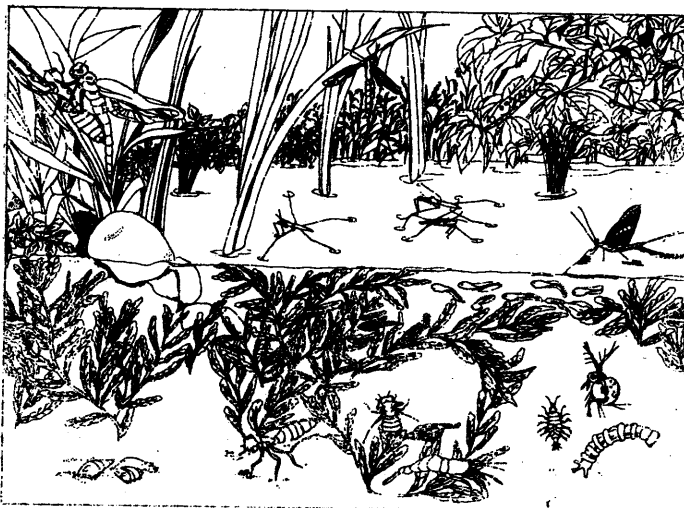
板橋区環境保全課内 FAX 03-3579-2589

赤塚公園 みんなで 自然発見ウォーキング '99

『自然観察マップ』完成記念!! コンクリートの池も変身しました!

いたばし水と緑の会では、身近で貴重な赤塚公園の自然をみんなで知り、大事にしていくために、今年も自然発見ウォーキングを行います。参加された方には私たちがつくった「自然観察マップ」を差し上げます(担当：江戸、小松、眞崎)。

- 美術館前ピオトープ池では、池ができてからこれまでの様子をパネル展示します。
- 城址公園の上の広場では、自然のまま次世代に残したい赤塚の森を紹介します。
- 美術館では、木の実や葉っぱ、秋の宝物を使って、オリジナルの作品を作ります。



<日 時>：平成11年10月23日(土) 午前10時から午後3時(いつでもスタート可)

<スタート>：板橋区立美術館前 <コース>：赤塚公園城址周辺

<その他>：雨天の場合も、いたばし美術館内アトリエ室にてパネル展示・工作教室・スケッチ等のみ開催。

<参加費>：無料

<連絡先>：坂本(環境保全課3579-2598)

<おねがい>：ウォーキングで紹介したい秋の情報や、写真があったら提供して下さい。

いたばし水と緑の会、板橋区、赤塚公園管理所共催

荒川生物生態園から始まったボランティアによる自然調査

坂本 郁子 釣巻 岳人

1 市民でできることから始める

板橋区は5年に1度の昆虫調査を実施していましたが、諸々の事情で先送りされ、1990年以降の報告がありません。もう待てない。会の自然調査班で始めようということになりました。そこで板橋区との共催事業とし、調査と取りまとめは市民でやり、呼びかけや事務作業を板橋区が受け持つことになりました。もちろん調査の実績は参加者全員のものとなります。

広報で調査員の募集するとともに、学校の生物の先生方にも協力をお願いし、チョウ、甲虫、ハチ、ガ、アリ、それに魚に強い人が集まり、植物は島井さんという心強い専門家がいます。

第1回の調査は荒川生物生態園を選びました。

写真はジャングル探検みたいですが、釣巻さんのボートで島に渡るところです(公園課の許可ももらいました)。

調査は8月8日と21日、どちらも暑い暑い日でした。8日にはブタクサの葉にカンタンを

発見。残念なことに14日の大雨で一帯は冠水し、虫はほとんどいなくなりました。河川敷の環境は厳しい。カンタンを聞く会は来年まで待ちましょう。

<やりたいことは>

さて、この調査グループで次のような調査をすることを検討しています。

- ・地域を分担してフィールド調査をする
- ・観察会などの記録で確かなデータを収集
- ・文献調査
- ・誰でも参加できる調査手法を検討し、学校などに広く参加を呼びかけて、みんなで、毎年継続して調査する

たとえば、セミの声(何をどこでいつ聞いたか)、セミの抜け殻、間違えにくい指標昆虫(たとえばベッコウハゴロモ)

- ・散歩の途中で拾った虫の死骸、あそこにこんな花が咲いていた、などの情報も集めます。

2 ボランティア調査の考え方

調査には、「詳しい人」と「詳しくないが関心があって勉強したい人」が参加しています。私(坂本)も「詳しくないが関心がある人」の一人として参加しています。これは調査が第一目的なので、詳しくない人もまず自分で調べることが原則です。植物調査班では標本をつかって、めいめいが図鑑をみて種名の見当をつける宿題が出ています。眞崎さんは図書館に行って、



私は昼休みなどに図鑑を見て首をひねっています。最後は専門家に同定してもらいます。「これだ」とわかったときは、教えてもらった時より、満足感があります(全然違っていたりして)。

標本をつくったり、種名を調べたりの他に、まとめる人に負担がかかります。みんながそれをサポートし役割分担することが重要です。

3 自然モニター募集中

今年の板橋区自然回復ボランティア活動講座

のテーマを自然調査入門としました。第1回の講座(昆虫調査)で、講師の松田邦雄先生は、草むらなどの中から「見えないものが見えてくる」楽しさを教えて下さいました。

あなたもできる身近な調査で、板橋区の自然の実態がわかってきたら、すばらしいと思いませんか。

夢は板橋区自然博物館?!!

地域で学校ビオトープを育む

小松 容子

区内にある小、中学校のビオトープづくりが昨年度からはじまり、高島第六小、三園小学校にビオトープ池ができました。

学校ビオトープには地域の自然回復と環境教育の2つの目的があります。また、野生生物との「共生」だけでなく、地域社会との連携や、雨水利用などのリサイクルなどもふくまれています。

このような特性をもった学校ビオトープはいま全国的な広がりを見せ、昨年、学校ビオトープ連絡協議会も発足しています。

子供にとって身近な学校における自然保護、回復は自然が消えつつある都心では、貴重な自然回復のポイントになると期待しています。

けれど、私の子供が通う高六小学校では地域との連携がなかなかすすんでいません。これから先もずっとビオトープとして維持することを考えると地域住民がビオトープに対する理解を

深め、協力を得るためには、学校がすすんで情報を発信し、地域住民へ開放していくことが必要ではないかと思います。また、地方自治体、あるいは企業などの協力も求めていくことが大切です。

水と緑の会の自然保護、回復活動の拠点となる赤塚の森や荒川にとっても、この学校ビオトープとのつながりは見逃せないものではないでしょうか。会としても積極的に関わってほしいなと思います。



ちよつとなまぐさい話ですが・・・ボランティア活動とお金

8月、9月の定例会では、河川整備基金をめぐって、これまでにない大議論になりました。争点は運営のルールとボランティアとお金です。

いたばし水と緑の会は、いたばし野鳥クラブ、ニリンソウを保存する会、いたばし自然観察会、いたばし自然と遊びの会が発起人となってできた会です。できてから3年半がたち、やめる人がいたり、また新しく会員になる人がいたりして、現在会員は91人。その会費と会員の寄付によって私たちの活動は支えられています。

水と緑の会は、自然を回復したいという目的で、新たな人間関係をつくっていく集団です。仕事ではないので「楽しく」がモットーですが、仲良しグループではないのできちんとした運営をしていく必要があります。

きちんとした運営とはなにか？。みんなが情報を共有し、話し合って決め、またみんなが役割を受け持ち、貢献することだと思います（会の参加の仕方はいろいろあるので、これはすべての人が運営に参加しなければならないという意味ではありません）。

8月の定例会では、荒川自然回復団が受けた河川整備基金の予算案の決め方、配分等について加々見さんの案に対する反対意見が次々に出され、ボランティア団体として、「外部に委託する以外、会員はみなボランティアでやる」という意見が多数を占めました。

また、建設省の笹目橋緑地の自然回復工事が中止となり、すべてが白紙になったわけではあ

りませんが、これからの方向をどうするかも大きな課題です。

自然回復をしたい個人が集まってできた水と緑の会ですが、具体的な運営や意志決定についてのルールがありませんでした。9月11日、有志が集まって話し合い、その方向を考えました。

- ・今後の荒川の活動と運営の新しいルールをつくるという前提で、建設省荒川下流工事事務所に工事中止の理由を聞く（於10月定例会）。
- ・オープンな場で、どのような活動をするか、私たちがボランティアでできる無理のない自然回復を話し合ってきめる。
- ・会の運営ルールをつくる
- ・お金の使い方を決める。補助金の用途を明確にし、会計監査をきちんとして、信頼される会の運営をしたい。

水と緑の会はボランティア団体です。それぞれの特技や能力や時間を無償で提供するのが原則です。活動費として補助金が得られることになったとき、お金の使い方のルールが必要になってきました。

ニリンソウを保存する会では、区の委託費を運営費と活動に参加した人に分配する方法をとっているそうです。こういう方法もあるでしょう。

市民団体といっても中心になる数人で運営している場合、数人で使い方を決めたり、使い道もリーダーの負担を軽くするため、企画費や報

告書作成費としてリーダーの収入になる団体もあるようです。大きな会では事務局経費が必要ですよ。

私たちは、まず原則をわきまえ、あまり硬直にならないで、私たち独自のルールをつくり、予算を使っていききたいと思います。

(文責：坂本郁子)

自然回復ボランティア活動講座

—自然調査入門— のご案内

身近な自然を守るために、身近な自然を知るための講座です。

主催：環境保全課

電話(3579)2598 FAX(3578)2589

- ・昆虫調査 (落とし穴を仕掛けて、回収しどんな虫がかかったか調査します)

9月18日(土)15時、23日(祝)10時美術館集合

講師：水と緑の会 釣巻 岳人

- ・荒川の魚調査

9月25日(土)9:30 西台駅集合

講師：高島高校教諭 田川 健太

- ・都市の自然回復 (講義)

9月29日(水)19~21時 産文ホール第6会議室

講師：大東文化大学教授 永戸 健

- ・板橋区で見られる植物

(標本をつくって植物名を調べます)

10月3日(日)、17日(日)10時美術館前集合

講師：大東文化大生物生態学教室島井誠司

(水と緑の会赤塚の森-9-)

- ・板橋区の自然の状況

11月8日(月)19~21時 産文ホール第6会議室

講師：日本蝶類学会 松田 邦雄

赤塚の森のニュース

その1 城址の柵から芽が出た!

7月26日滝川光平さんより「城址の柵から芽が出てきた」という報告がありました。柵はイチヨウの枝でつくりました。枝と言っても半年前に公園が剪定した枝です。それを集め、滝川さん達が杭になるように整理してとっていただいたもの。柵を作ったのが6月27日と、7月4日。枝をさかさまに打ち込んだのに、芽が出た枝が10本以上。このままイチヨウの並木になるとは思えないけど、すごい生命力。

なお、この柵で数が少なくなったニイニイゼミの抜け殻も2つありました。

その2 池の看板ができました。

7月から自然池に立派な趣旨説明看板がたちました。すてきな水辺のイラスト入りです。本号の表紙のイラストと同じですが、作者は江戸きよみさんです。感謝!



その3 投書から

自然池のポストに「ぼくはトンボなんかいない。ザリガニをとって遊びたい」という手紙が入っていました。ごめんね。

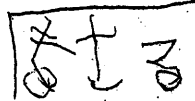
ヘビトンボがいた！小川町で川遊び

前日までは毎日晴天だったのに、朝 雨の中小川町に向けて出発しました。でも子供はそれほど気にならない様子。雨は結局、降ったり、やんだりでしたがサワガニをつかまえたり、ヘビトンボをみつけたり、バーベキューをしたりして楽しくすごしてきました。

以下、感想を紹介します。

小松 容子

●親が、カニ 虫にさわれない。
おしえられないので、今日のことは、子供達に
とって、貴重な
体験でした。



今日は川あそびなどをして
いろいろわがたことなど
が たくさんありました。
サワガニのとり方や
どんな所にいるのかを
おしえてもらって

とても勉強になり
ました。

by 高小五 年三組

大元 マリカ

今日はカニのとり方や、
川でころんだり、
ダムを作ったり、
いろいろなたいけんが
できてとても楽しかった
です。

大西 ゆき

川で遊んでよかった。
友だちもできてよかった。
とんぼも食べられてよかった。
たき火もできた。

まうは川であそべたのしかった。
よくにダムをつくらたのがたのしかった。
さう あきひこ

釣巻 菜摘



さわがたをりかえらる
ことができてうれしい
水遊びが楽しかった

おん田 みわ。

●かみのつかみかたがわかった
はじめて、
川に行ったので



わがたがた〜！
ころんじやた！

すごしたのしかった
です。

らい年もいきたいです。

活 動 の お 知 ら せ

緊急意見交換会「荒川笹目橋緑地の自然回復のこれから」

今年度予定されていた笹目橋緑地の自然回復工事が中止されたことについて、建設省荒川下流工事事務所事業計画課長さんにきていただき、お話をうかがいます。

10月7日19時から 産文ホール第4会議室(10月定例会をこれに変えます)

大事な話なので、できるだけご出席下さい。

10月定例会

日時：10月7日(木) 18:30~21:00

場所：産文ホール第4会議室

11月定例会

日時：11月5日(金) 18:30~21:00

場所：産文ホール第4会議室

赤塚の森ボランティア

赤塚の森ボランティアは、第2、第4土曜日を交互に活動日とします。

●10月世話人会

日時：10月23日(土) 17:00~

場所：赤塚5丁目集会所

会費：1000円

自然発見ウォーキングの打ち上げ
夜だけの参加歓迎。

連絡先：坂本当日 090-4618-1295

●11月の活動(午後は世話人会)

日時：11月13日(土) 10:00~12:00

場所：美術館前集合

内容：城址の柵の仕上げ(竹を渡してシュロ
縄で縛ります)

世話人会は5丁目集会所です。

●竹グループ(毎月第一土曜日午後)

連絡先：猪鼻(3933) 8269

◎日時：10月2日(土) 1時30分

場所：美術館前集合

または三園小学校に2時集合。

切った竹を使って竹ぼうきをつくってみます。

◎日時：11月6日(土) 1時30分

場所：美術館前集合

柵を作るために竹を割ります。

徳丸が原公園の自然回復を考える

日時：9月21日(火) 19:00~21:00

場所：産文ホール4階準備室

内容：私たちが何ができるか

連絡先：大西(3938) 3106

荒川自然回復団

●荒川クリーンエイド'99

今年も荒川河川敷でゴミ拾いと水質調査を実施します。是非ご参加下さい。

日時：10月24日(日)

会場：荒川 笹目橋会場

集合場所：都営三田線 西高島平改札口

集合時間：9:30

持参：弁当、飲物、おわん、軍手など。

会費：200円(豚汁、保険など)

連絡先：木村 03-5399-1644